

ノロウイルス感染を予防する消毒方法

～衣類、寝具の消毒とお風呂のときの注意～

感染者のおう吐物や便には多量のノロウイルスが含まれています。
衣類やシーツなどについたときは、正しい方法で処理して感染の拡大を防ぎましょう！

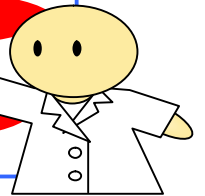
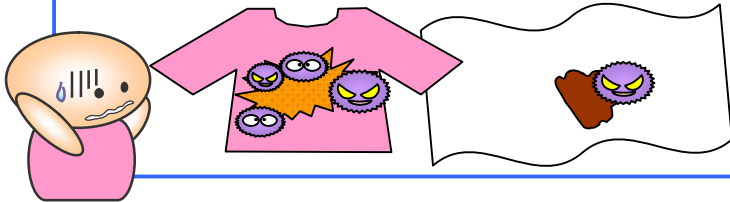
おう吐物や便の中には多量のノロウイルスが・・・

感染者のおう吐物や便で汚れた衣類やシーツなどは、大きな感染源となります。
水洗いするだけでなく、きちんと消毒しましょう！

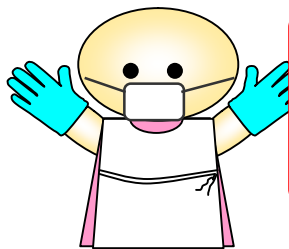
素手で処理しちゃダメ！

きちんと消毒！

他の衣類と別に洗濯！

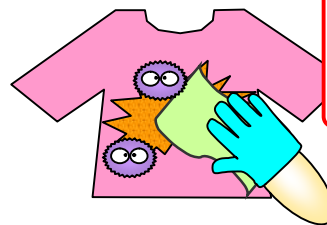


衣類等の消毒 ～手順～



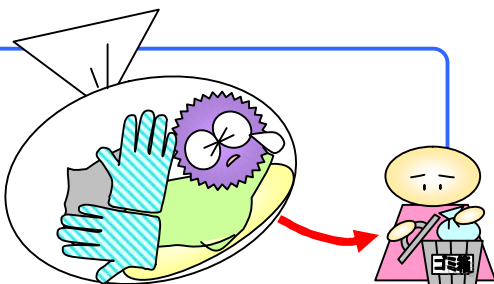
汚物がついた衣類等は、周囲を汚さないようビニール袋に入れましょう！

処理を始める前に手袋、マスク、エプロンをします。

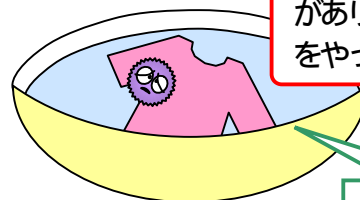


汚物等がついたまま洗濯かごなどに入れておかないこと

汚物等が飛び散らないよう静かにペーパータオルなどで拭き取ります。



使用したペーパータオル、手袋などは、ビニール袋に入れて捨てます。

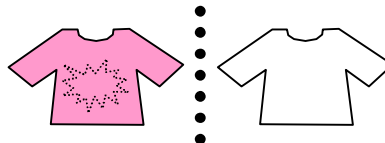


素材により色落ちすることがありますが、ノロウイルスをやっつけるには必要です。

0.02%次亜塩素酸ナトリウム液に30分間浸します。

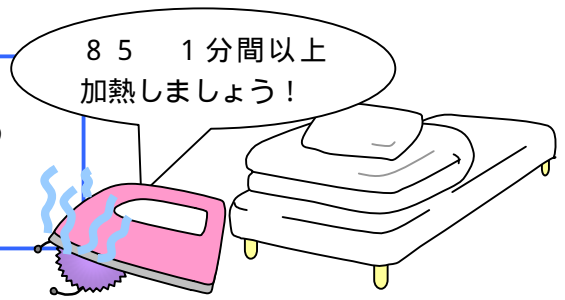
0.02%消毒液は、5Lの水に市販の漂白剤（濃度5%のキャップ1杯約20ml）です。

消毒した後は、他のものと分けて最後に洗濯します。
洗濯後は、よく乾燥させましょう。



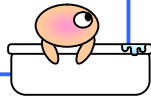
すぐに洗えないときは？

すぐに洗えないような布団などの場合は、表面のおう吐物をペーパータオル等で取り除いた後にスチームアイロンを使う方法もあります。

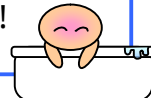


お風呂のときの注意

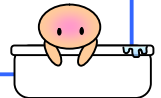
湯につかる前にまず「おしり」をよく洗いましょう！



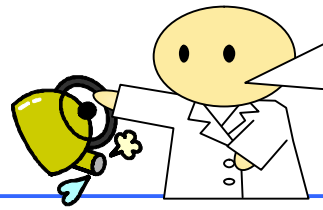
下痢などの症状のある人は「一番最後」に入るかシャワーのみにしましょう！



タオルやバスタオルを共用するのは止めましょう！



お風呂の水は毎日かえて、浴槽や風呂の床、洗面器などは洗剤できれいに洗いましょう。下痢などの症状がある人が入った後は、浴槽を「0.02%次亜塩素酸ナトリウム液」で消毒しましょう！



乳幼児のベビーバスは、毎回ていねいに洗い、最後に熱湯をかけて消毒しましょう！

汚物にふれた掃除用具やスポンジなどは、よく洗ってから「0.02%の次亜塩素酸ナトリウム液」に浸けて消毒しましょう。

次亜塩素酸ナトリウムの注意点！

商品に記載されている使用上の注意をよく読んでから使いましょう。皮膚に対する刺激が強いため、手の消毒など人に対しては絶対に使用しないてください！

使用するときは、換気を十分に行ってください。

使用にあたっては、目に入らないようよう注意しましょう。

もし、目に入った場合は、すぐに流水で洗い流しましょう！

子供の手の届かない所に保管しましょう！

金属に対し腐食性があります。使用した場合には、必ず水で洗い流すか拭き取りましょう。



次回は、「ノロウイルスにかかったときは」です。